

第2 - 1号様式 【公開】

地域緑のまちづくり 一次提案 「提案書」

提案計画名	早湊川・老馬谷ガーデンを中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり
応募団体名	中川緑と水と歴史をつなぐ会（略称 NGWH 会）
<p>応募のきっかけ (どのようなきっかけ、経緯、地域の課題等があるか本事業に応募したかを簡潔に記入してください。)</p>	<p>1. 本計画の核となる早湊川・老馬谷ガーデン（HRG）は、2017年、早湊川沿いに「全国都市緑化よこはまフェア」の都筑区拠点として、市民、東京都市大学、都筑区役所が手作りで作った。しかし、整備が不十分であり、地域緑のまちづくり制度を使い、魅力アップを図りたいと考えた。</p> <p>2. 都筑区を横断する早湊川には魚、鳥などが棲み、中川周辺には田園風景が広がっており、散歩やサイクリングで通る人が多い。また川沿いには旧大山街道など歴史遺産もあり、川と川沿いを地域の魅力資源として生かしていきたい。</p> <p>3. 中川の中心である駅と早湊川を結ぶ住宅街の歩行者専用道路は、通勤、通学、買い物に多くの人に使われているが、昔植えられていた植栽が無くなり雑草に覆われ、緑の美しさを復活させたい。</p>
<p>提案計画の目標像 (提案計画全体の目標像（ビジョンやテーマ）を掲げ、目指すべき方向性や達成したい目標を簡潔に記入してください。)</p>	<p>《提案計画の目標像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早湊川・老馬谷ガーデンの緑を充実させ、それを核として中川駅と早湊川を花と緑のラインで結び、山崎公園とつなぎ、地域に愛される回廊「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」作りへ広げていく。 <p><具体的な目標></p> <p>上記回廊のうち、今回は中川駅と早湊川・老馬谷ガーデンを結ぶ部分を対象に、以下を具体的な目標とする。</p> <p>目標1：早湊川・老馬谷ガーデンの緑を増やし、魅力アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国都市緑化よこはまフェアのレガシーとして、早湊川・老馬谷ガーデンの緑を増やし魅力アップする <p>目標2：中川駅から早湊川・老馬谷ガーデンまでの道沿いに花と緑のゾーンを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川駅と住宅地を結ぶ歩行者専用道路を中心に緑を増加し、まちを美化する <p>目標3：地域の協力関係とつながりを作る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へ緑化活動への参加を呼びかけ、地域のつながり、地域活動の担い手の育成に取り組む
<p>対象範囲 (提案計画の対象範囲又は活動拠点)</p>	<p><対象範囲となる住所></p> <p>都筑区中川2丁目、3丁目、早湊川・老馬谷ガーデン、青葉区荏田町の一部</p> <p>※別途範囲図を作成し、想定している地区の範囲を記載してください。</p>
<p>対象範囲の概要 (地域特性や地理特性、居住者の世代層等、概要を簡潔に記入してください)</p>	<p>対象地域の中川2、3丁目は港北ニュータウンとして30年前に開発され、歩行者専用道路が中川駅から戸建て住宅の中を早湊川に向けて通り、途中に烏山公園、ゆうひがおか公園の緑がある。対象地域の平均年齢は45歳前後で、若い人が多いが高齢者もいる地域で、この歩行者専用道路を小中学生が通学し、また地下鉄中川駅と商業地区に向けて通勤、通学、買い物、散歩をする人が通る。</p> <p>早湊川沿いはニュータウン開発外の地域で、歴史もある住宅街と農地があり、早湊川・老馬谷ガーデンはニュータウンと川と歴史の交点にあたる場所にある。</p>

【この「提案書」は、公開されることを留意して記入してください。】

第2 - 2号様式 **【公開】**

<p>計画の内容</p> <p>・ <u>定めた目標の達成に向けて、どのような緑化や活動を</u>考えているか、要点をまとめて、具体的に記載してください。(第2 - 3号様式を活用して作成してください。)</p> <p>・ 提案に関する資料(計画イメージ)を別途A4判2ページまで添付することができます。)</p>	<p><民有地緑化、景観木保全></p> <p>1. 早渕川・老馬谷ガーデンの緑を増やし、魅力アップする</p> <p>①道路沿いの擁壁をつる植物により緑化する。</p> <p>②道路際の鉄パイプフェンスをつる植物と植栽で緑化する。</p> <p>③日陰で休憩できるようつる植物をからませたパーゴラを設置する。</p> <p>④緑を維持する為に灌水設備を設ける</p> <p>2. 中川駅から早渕川・老馬谷ガーデンまでの道沿いに花と緑のゾーンを作る</p> <p>①歩行者専用道路など経路沿いや付近のお宅に花や植栽を植えてもらう。</p> <p>②中学校の正門エリア、歩専用路沿いの土地を学校と協力して、きれいな緑化を図る</p> <p>③歩行者専用道路の植栽帯が消滅し、雑草に覆われている。この植樹帯に地域の参加で、植栽と花で構成する花壇を作る。</p> <p>④散歩道の交点にロックガーデンあるいはシンボルツリーを配し、楽しんで歩ける仕掛けを作る</p> <p><地域緑化活動支援></p> <p>3. 活動に参加することにより、地域のつながりをつくり、維持できる担い手を作る</p> <p>①緑化整備した花壇、プランターの植替えをイベントとして開催し、地域住民に参加を呼びかけ、住民同士のつながりを作る。</p> <p>②担い手を育成するため、植栽管理の研修会を実施する。</p> <p>③メンバーが使用するビブスを作成し、活動のPRを図る。</p> <p>④広報紙を年3回発行し、活動と散歩道のPRを行う</p>
<p>団体の運営方法</p> <p>(<u>活動を推進していくための組織づくりや資金計画等を記入してください。</u>)</p>	<p>・当初はNPO法人ぐるっと緑道と早渕川・老馬谷ガーデン運営会でスタートするが、近隣の町内会、団体、学校にも協力を依頼し、新たに移住してきた若い世代も巻き込んだ組織作りを進める。</p> <p>(資金)</p> <p>・趣旨に賛同する個人、団体から寄付を集めて資金確保を行う。</p> <p>・地域イベントや自主講座等を通じた資金確保により継続性を図る。</p>
<p>関係者や地域への説明状況</p> <p>(該当に印、複数印可)</p>	<p>■ 実施場所の所有者や関係者等へ、提案を行うこと及び内容を説明している。</p> <p>説明の相手先 (<input type="checkbox"/> 所有者 <input checked="" type="checkbox"/> 公共施設管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺住民)</p> <p>(<input checked="" type="checkbox"/> その他 (中川西町内会、中川西小中おやじの会))</p>
<p>創意工夫</p> <p>(<u>提案内容について、地域ならではのアイデアや特にアピールしたい点を記入してください。</u>)</p>	<p>・2016年に地域と都筑区で決定した「中川まちづくりプラン」を具現化した提案である。地域が自主的にまちづくりプランを作り、地域で実践していく事例を積み重ねる。</p> <p>・今回の提案で整備する道と既存の道で「緑と水と歴史をつなぐ散歩道」を作り、地域の緑、川、歴史について愛着を深め、併せてその道を歩いて健康づくりをする。</p> <p>・該当歩行者専用道路沿いには地区センター、保育園、中学校があり、また小学校通学路でもある。学校やおやじの会等と協力し、イベントへの参加を通じ、緑の環境やまちづくり教育を図っていく。また若い保護者の地域活動への参加を促進していく。</p>

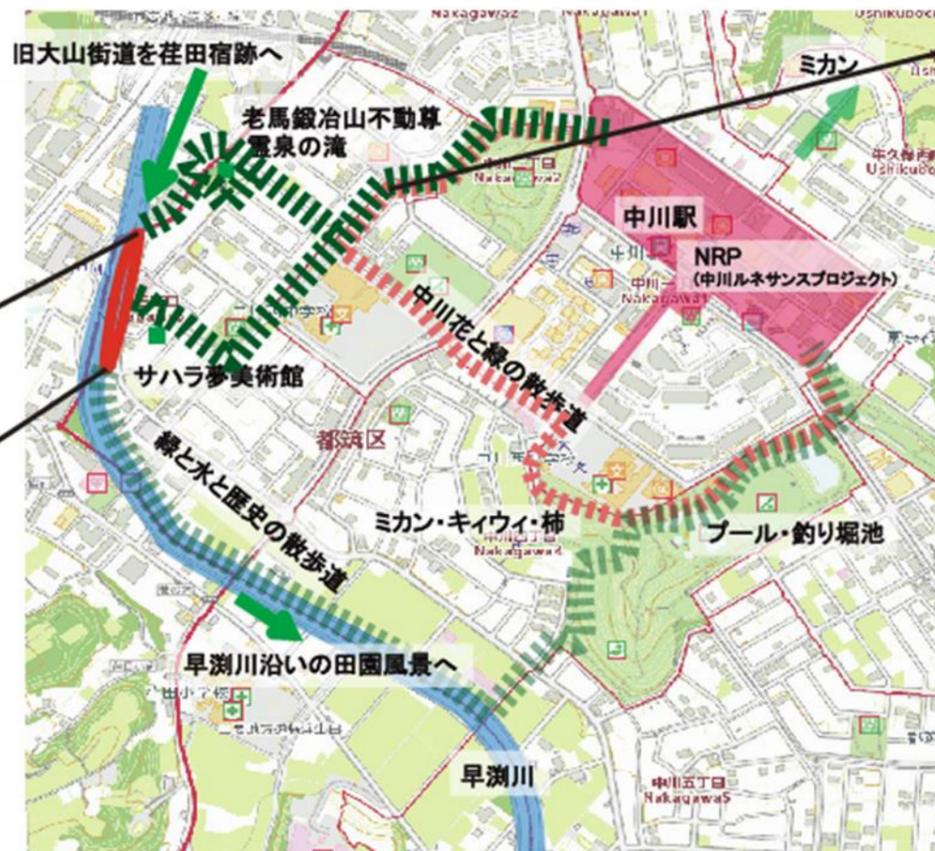
【この「提案書」は、公開されることを留意して記入してください。】

HRG を中心とした緑と水と歴史をつなぐ散歩道づくり

中川緑と水と歴史をつなぐ会

魅力資源は豊富だが活かされていない

霊泉の滝



緑と水と歴史の散歩道 今回提案部分



早瀬川・老馬谷ガーデン
早瀬川沿いの擁壁が威圧的。日陰がない



自転車歩行者専用道路
植栽した箇所もあれば雑草だらけ、放置箇所も



コミュニティ道路
街路樹の枯死、撤去跡放置されている

——このみちはもっと素敵になる——

1. 早瀬川・老馬谷ガーデンの緑を増やし、魅力をアップする



大規模な擁壁を緑化することで、宅地化で失われた崖線の緑を復活させるイメージ



急には取り外せない単管パイプのフェンスを、つる植物で緑化し、景観を良くする



簡単なパーゴラを設置し、つる植物を絡ませて日陰をつくる

2. 中川駅からHRGまでの道沿いに花と緑のゾーンを作る



ローズマリーなど、用途の広いハーブや常緑の植物を植える



個人宅擁壁の上部からの懸垂や、擁壁下私有地部分への緑化も呼びかける



マイルストーンや一里塚のように、ロックガーデンやシンボルストーン石の灯りなどを配し歩いてたどる楽しみの仕掛けをつくる

確認事項

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 「提案書」に記載した内容を公開することに同意します。

【この「提案書」は、公開されることを留意して記入してください。】